

マーケットの動き (2019年12月9日~12月13日)

先週の国内リート市場は下落しました。

米中通商協議の進展期待を背景に、世界の株式市場が上昇し、国内REIT市場から資金が流出したことなどから、東証リート指数は先週末比で2.6%下落しました。

セクター別では、オフィスセクター、住宅セクター、商業・物流セクターが総じて下落しました。

投資環境見通し (2019年12月)

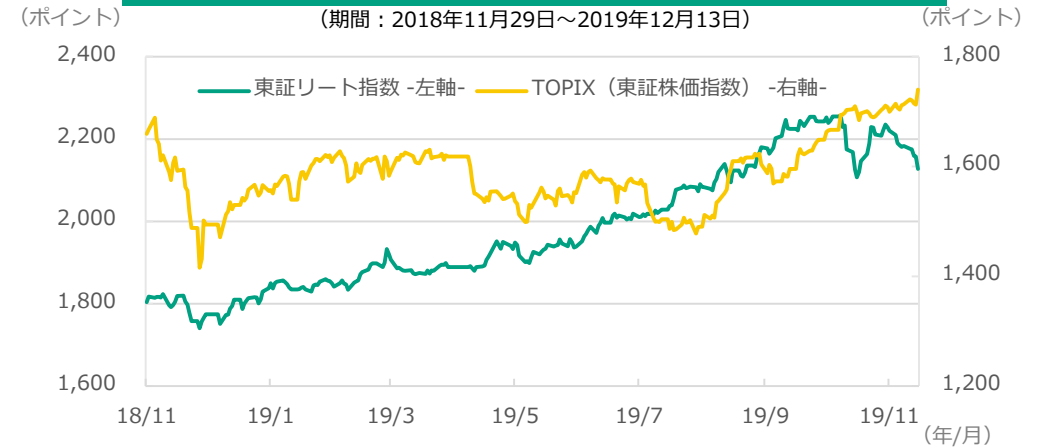
上値の重い展開を予想

- 不動産市場の投資環境は引き続き良好であるものの、景気の先行き懸念後退や長期金利の上昇を受け、利益確定売りが出やすい環境にあることから、変動性が高まり、上値の重い展開を予想しています。

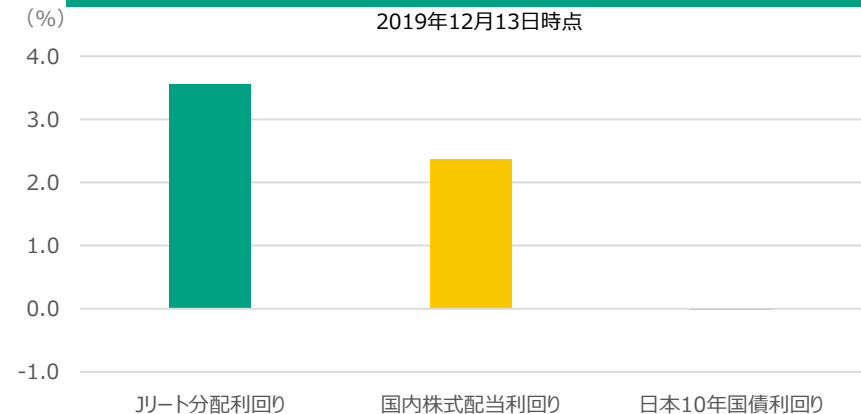
	12月13日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
東証REIT指数	2,127.11	▲2.58%	0.97%	10.03%	17.90%
<ご参考>					
TOPIX (東証株価指数)	1,739.98	1.55%	2.33%	12.88%	7.63%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

東証リート指数、TOPIXの推移



国内各種資産利回り



※出所: FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し(総合)の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>